

講義コード	5100000101
講義名	総合学習
開講期	2023年度前期
単位数	1単位
授業形態	講義
担当教員	杉江 晶子、大崎 正幸、原田 隆、山本 ちか、川畑 龍史
ナンバリングコード	EA1101

講義概要	<p>大学には独自の教育理念が存在するため、まず本学の歴史を知り、立学の精神および教育理念を深く理解する。その上で本学学生としての自由と責任、規律と社会通念を身に付けることを目的とする。さらに、社会の一員として信頼され人間力豊かな資質の向上をめざし、デジタル社会の中で日常的・社会的な課題を解決するために必要とされる「数理・データサイエンス・AI」の基礎を理解する。</p>
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) 本学の立学の精神および教育理念を理解することができる。 2) スタディスキルを身に付け、各授業で活用できる。 3) 基礎学力を修得し、自ら学ぶ力を身に付け、活用できる。 4) 社会におけるデータ・AI活用 の概要を理解し、考察できる。
学位授与方針との関連	<ol style="list-style-type: none"> 4. 栄養士として他者との良好な関係を築くことのできるコミュニケーション能力を身につける 5. 社会人として必要な教養を身につける
授業計画	
第1回	<p>ガイダンス 受講の心得 スタディスキル</p> <p>授業外学習：シラバスを確認し授業内容を予習しておく。またスタディスキルで学んだ内容が他の授業でどのように応用できるのかを考える。</p>
第2回	<p>本学の学びの特徴 学園長および学長による授業（本学の歩みと教育理念・建学の精神、本学で学ぶことを理解する）</p> <p>授業外学習：3つのポリシー理解(学生便覧冒頭、本学HP：学科・専攻の教育研究上の目的と3つのポリシー（3つの方針）並びにアセスメントポリシー）</p>
第3回	<p>キャリアデザイン 2年間で学ぶ内容、栄養士および製菓衛生師の仕事内容を理解する 変革し続ける社会において将来活躍するためのキャリア形成を行う</p> <p>授業外学習：スタディスキルおよび本学の学びの特徴も踏まえ、卒業までの行動計画を作成する。</p>
第4回	<p>日本語力（1） 語句を用いた表現力と読解力を伸ばす</p> <p>授業外学習：予習としてテキストの該当箇所を目を通しておく。授業後は配布資料を参考に、問題に取り組む。</p>
第5回	<p>日本語力（2） 文章の音読、要約、作文により、文章理解力と文章表現力を伸ばす</p> <p>授業外学習：文章理解力と文章表現力を伸ばすため、新聞、小説など文章を読む。</p>
第6回	<p>数理・データサイエンス(DS)・AI（1） Week1：現代社会におけるデータサイエンス DSとAIの役割、データの取得・管理、データの入手方法、データの分析、 DSと画像処理技術、DSと音声処理技術、DSと情報倫理 授業外学習：Week1動画視聴、確認テスト</p>
第7回	<p>数理・データサイエンス(DS)・AI（2） Week2：データ分析の基礎 ヒストグラム、箱ひげ図、平均・分散・標準偏差、散布図、相関関係、回帰直線、 データ分析で注意すべき点、主成分分析、クラスター分析 授業外学習：Week2動画視聴、確認テスト</p>

第8回	<p>数理・データサイエンス(DS)・AI (3) Week4: データサイエンスの応用事例 保険、金融、マーケティングリサーチ、染色体上で遺伝子を探す、 疾患関連遺伝子を探す、品質管理 授業外学習: Week4動画視聴、確認テスト</p>			
試験	その他			
講義進行方法、課題へのフィードバック方法	<p>毎回の授業の最後に、授業内容についての理解度をみるレポートもしくは小テストを実施する。 後日返却もしくは講評するので、各自で見直し・復習を行うこと。 「数理・データサイエンス・AI」分野では、滋賀大学と株式会社NTTドコモ関連会社ドコモgaccoにより作成された滋賀大学DS-MOOCパッケージを使用し、「大学生のためのデータサイエンス(1)」のWeek1,2,4を動画視聴し、レポートおよび確認テストを課す。Week3(PCを用いたデータ分析)は「情報リテラシー」科目のExcel活用術で学習する。</p>			
アクティブラーニング(名古屋)	PBL【Project Based Learning】自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした課題解決型学習/反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)			
講義前・講義後の自主的学修活動への助言	<p>高校までのように、先生から教えられる授業の形式とは異なり、自分の能力を伸ばすため、解らないことは調べ、自分の得意分野、不得意分野を自覚しながら学習を進める。また真摯な授業態度で臨み、授業外時間に不得意分野の復習に努めること。 授業外学習に費やすべき時間の目安は各回4時間程度とする。</p>			
成績(達成度)評価方法・評価基準、割合	<p>スタディスキル(10%)、学びの特徴(10%)、キャリアデザイン(10%)、日本語力(30%)、数理・DS・AI(40%)における小テストおよびレポートの各評価を合わせて、総合的に評価する。</p>			
実務家教員				
テキスト				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
スタートBOOK 食物・栄養系		株式会社ランズ		入学前通信講座にて購入済み
就職試験 これだけ覚える適性検査スピード解法 '24年版		成美堂出版	9784415234939	
参考図書など				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
大学生のためのデータサイエンス(1) オフィシャルスタディノート<改訂版>	滋賀大学データサイエンス学部編	日本統計協会	9784822341305	
参考URL				
No	表示名	URL	説明	
1.	モデルカリキュラム(リテラシーレベル)	http://www.mi-u-tokyo.ac.jp/consortium/model_literacy.html	数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム「数理・データサイエンス・AI(リテラシーレベル)モデルカリキュラム～データ思考の涵養～」	
2.	大学生のためのデータサイエンス(1) 滋賀大学データサイエンス学部編	https://lms.gacco.org/courses/course-v1:gacco+ga109+2022_08/about	本講座は改訂版として、滋賀大学を含む数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアムが提示したモデルカリキュラムに添い、近年のデータサイエンス・AI分野の動向をアップデートし、リニューアルを行ったもの。	
3.	数理・データサイエンス・AI教育プログラム	https://www.nagoya-bunri.ac.jp/campuslife/data-science/	文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)」の認定を受けた名古屋文理大学の教育プログラム	
4.	リテラシーレベルモデルカリキュラム対応教材	http://www.mi-u-tokyo.ac.jp/consortium/e-learning.html	2022年4月よりコンソーシアム第2期が始動し、数理・データサイエンス・AI教育の全国展開のさらなる加速を目指して活動:教材の開発例・模擬講義	
5.				